



レポートの表示

- [「バックアップ履歴レポートの表示」](#)
- [「復元履歴レポートの表示」](#)
- [「ネットワーク タイム プロトコル レポートの表示」](#)

バックアップ履歴レポートの表示

手順

- ステップ 1** [Reports] > [Backup History] を選択します。
- レポートするバックアップ履歴がある場合、バックアップ履歴レポートには次のフィールドが含まれます。
- [ID] : バックアップの ID です。
 - [Server URL] : バックアップ履歴が格納されているサーバです。
 - [Backup Time and Date] : システムが最後にバックアップされた日付と時刻です。
 - [Version] : インストールされている Cisco Unified SIP Proxy ソフトウェアのバージョンです。
 - [Description] : バックアップの説明です。
 - [Result] : 最終バックアップ手順のステータスです。[Result] は成功 (Success) または失敗 (Fail) を示します。
- ステップ 2** 異なる数のバックアップレポートを各ページに表示するには、右上にあるドロップダウン ボックスで別の数を選択し、[Go] をクリックします。10、25、50、100、またはすべてのバックアップ レポートの表示が選択できます。
- ステップ 3** 他のページに移動するには、右下にある左右矢印ボタンを使用するか、または他のページ番号を入力して Enter を押します。
- ステップ 4** バックアップ レポートを並べ替えるには、該当するヘッダーをクリックします。
-

関連項目

[「レポートの表示」](#) の目次ページに戻る

復元履歴レポートの表示

手順

-
- ステップ 1** [Reports] > [Restore History] を選択します。
- レポートする復元履歴がある場合、復元履歴レポートには次のフィールドが含まれます。
- [ID] : 復元の ID です。
 - [Server URL] : 復元履歴が格納されているサーバです。
 - [Restore Time and Date] : システムが最後にバックアップされた日付と時刻です。
 - [Version] : インストールされている Cisco Unified SIP Proxy ソフトウェアのバージョンです。
 - [Result] : 最終復元手順のステータスです。[Result] は、復元されたコンポーネントの成功 (Success) または失敗 (Fail) を示します。
- ステップ 2** 異なる数の復元レポートを各ページに表示するには、右上にあるドロップダウン ボックスで別の数を選択し、[Go] をクリックします。10、25、50、100、またはすべての復元レポートの表示が選択できます。
- ステップ 3** 他のページに移動するには、右下にある左右矢印ボタンを使用するか、または他のページ番号を入力して Enter を押します。
- ステップ 4** 復元レポートを並べ替えるには、該当するヘッダーをクリックします。
-

関連項目

[「レポートの表示」](#) の目次ページに戻る

ネットワーク タイム プロトコル レポートの表示

手順

-
- ステップ 1** [Reports] > [Network Time Protocol] を選択します。
- レポートには次のフィールドが表示されます。
- [#] : NTP サーバの優先番号です。システムは、システムの時間の同期を NTP サーバ番号 1 から試みます。
 - [NTP Server] : NTP サーバの IP アドレスまたはホスト名です。
 - [Status] : NTP サーバが Cisco Unified SIP Proxy と接続されたか、または拒絶されたかを示します。
 - [Time Difference (secs)] : NTP サーバとクライアントとの間のタイム オフセットです。
 - [Time Jitter (secs)] : RMS の時差の移動平均として測定される、システム クロックの推定誤差時間です。
-

関連項目

[「レポートの表示」](#) の目次ページに戻る